VAD-2000SR

V/A エラー監視システム

操作説明書

Ver.2.3



			ページ
1.	概要		
	1.1 シ	ステム構成図	
2	町2月ミノフ	ティ	Λ
۷.			······
	2.1 ×·		4
	2.1.1	スタートボタン	4
	2.1.2	メニューバー	5
	2.1.3	エラー検知開始・停止ボタン	5
	2.1.4	エラー確認ボタン	6
	2.1.5	しきい値・マスク値設定選択ボタン	7
	2.1.6	ログ表示	7
	2.1.7	サムネイル表示	8
	2.1.8	AVI 自動作成イベント状態表示	8
	2.2 設	定	9
	2.2.1	起動時設定	9
	2.2.2	時刻同期設定	1 0
	2.2.3	ログ保存設定	12
	2.2.4	キャプチャ設定	13
	2.2.5	設定ファイル保存	15
	2.2.6	テキスト読み上げ	16
	2.2.7	VAD アラーム通知設定	
	2.2.8	VAD しきい値・マスク値設定	21
	2.2.9	サムネイル表示設定	43
	2.2.10	VAD 接続設定	45
	2.2.11	プレーヤー接続設定	47
	2.3	グ操作・状況表示	
	2.3.1	ログ検索	
	2.3.2	ログ削除	
	2.3.3	AVI 自動作成状況	51
	2.4 N	ード情報参照	
	2.4.1	バージョン情報	
	2.4.2	VAD 時刻参照・設定	
	2.4.3	状態参照	
	2.4.4	測定值参照	
	2.5 ソ	フトウェアバージョン情報	

З.	プレー	-ヤ	—	
	3.1	プレ	ノーヤー 画面	
	3.1.	1	メニューバー	
	3.1.	2	ビデオ動画再生パネル	61
	3.1.	З	シークバー	
	3.1.	4	動画再生リモコン	
	3.1.	5	音量調整パネル	64
	3.1.	6	機能ボタンパネル	
4.	AVI É	動	作成について	
	4.1	A٧	1 仕様	
	4.2	A٧	/! 自動作成イベント追加タイミング	
	4.3	A٧	1 自動作成の流れ	

1. 概要

本書は、VAD-2000SR V/Aエラー監視システム(以下、監視システム)の操作について説明するものです。

監視システムは、下記2種類のソフトウェアにおいて操作します。

- ① 監視システム
- ② 直近同録プレーヤー(以下プレーヤー)
- 1.1 システム構成図



監視システムの仕様	
ログ最大登録件数	50,000件
AVI 自動作成イベント最大保持数	500件(*1)
AVIファイル最大秒数	60 秒
SR2000 動画最大秒数	300秒
VAD-2000SR 接続数	最大 10 台まで接続可能

(*1) AVI 自動作成イベントが 500 件を超えた場合、アラームによる自動作成イベントの日付が古いものからを削除します。

2. 監視システム

2.1 メイン画面

A	\bigcirc		V/A_	Iラー監視システム 《 VA	D-2000SR》				x
U	し 設定	ログ操作・状況表示 ノ)ード情報参照						
3	検知停止 ③ エラー	Chi	Ch2						@
		設定1	設定10						E
ര	ログ日時	CH名称	内容		マスク(秒)	エラー検知日時	エラー維続時間	VITC	
\mathbf{U}	2012/10/03 13:	34:14 Ch1	1系 音声 Ch1(L) レヘ	いん高回復		2012/10/03 13:33:24	00:00:50		-
	2012/10/03 13:	34:14 Ch1	1系 音声 Ch2(R) レイ	ベル高回復		2012/10/03 13:33:24	00:00:50		
	2012/10/03 13:	34:14 Ch1	2系 音声 Ch1(L) レヘ	いん高回復		2012/10/03 13:33:24	00:00:50		
	2012/10/03 13:	34:14 Ch1	2系 音声 Ch2(R) レイ	ベル高回復		2012/10/03 13:33:24	00:00:50		
	2012/10/03 13:	34:42 Ch2	1系 音声 Ch1(L) レヘ	いし高発生	30	2012/10/03 13:34:13			
	2012/10/03 13:	34:42 Ch2	1系 音声 Ch2(R) レイ	べル高発生	30	2012/10/03 13:34:13			
	2012/10/03 13:	34:42 Ch2	2系 音声 Ch1(L) レヘ	いし高発生	30	2012/10/03 13:34:13			
	2012/10/03 13:	84:42 Ch2	2系 音声 Ch2(R) レイ	ベル高発生	30	2012/10/03 13:34:13			
	2012/10/03 13:	86:17 Ch2	1系 音声 Ch2(R) レイ	ベル高回復		2012/10/03 13:34:13	00:02:04		
	2012/10/03 13:	36:17 Ch2	2系 音声 Ch2(R) レイ	ベル高回復		2012/10/03 13:34:13	00:02:04		
	2012/10/03 13:	36:21 Ch2	1系 音声 Ch1(L) レヘ	いん高回復		2012/10/03 13:34:13	00:02:08		
	2012/10/03 13:	36:21 Ch2	2系 音声 Ch1(L) レヘ	いん高回復		2012/10/03 13:34:13	00:02:08		
	2012/10/03 13:	37:02	サムネイル表示設定	変更					
	2012/10/03 13:	89:28 Ch2	1系 音声 Ch1(L) レヘ	いし高発生	30	2012/10/03 13:38:59			
	2012/10/03 13:	89:28 Ch2	1系 音声 Ch2(R) レイ	べル高発生	30	2012/10/03 13:38:59			
	2012/10/03 13:	89:28 Ch2	2系 音声 Ch1(L) レヘ	い心高発生	30	2012/10/03 13:38:59			
	2012/10/03 13:	89:28 Ch2	2系 音声 Ch2(R) レイ	◎ル高発生	30	2012/10/03 13:38:59			
	2012/10/03 13:	89:42 Ch2	1系 音声 Ch1(L) レヘ	いん高回復		2012/10/03 13:38:59	00:00:43		
	2012/10/03 13:	89:42 Ch2	1系 音声 Ch2(R) レイ	いル高回復		2012/10/03 13:38:59	00:00:43		
	2012/10/03 13:	89:42 Ch2	2系 音声 Ch1(L) レヘ	いん高回復		2012/10/03 13:38:59	00:00:43		
	2012/10/03 13:	39:42 Ch2	2系 音声 Ch2(R) レイ	い心高回復		2012/10/03 13:38:59	00:00:43		
	2012/10/03 13:4	40:35	サムネイル表示設定	変更					
	▶ 2012/10/03 13:4	41:35	エラー検知を停止しま	した					
_									
\bigcirc									
8	産ム\/エル乍成数・	0 建ムバル市成秋数・0秒					白動作成・		
9	NOT VITE FUNDER	0 201011FU0098X 019						10,100,11,	

詳細については以下を参照してください。

- ① 2.1.1 スタートボタン
- 2 2.1.2 メニューバー
- ③ 2.1.3 エラー検知開始・停止ボタン
- ④ 2.1.4 エラー確認ボタン
- ⑤ 2.1.5 しきい値・マスク値設定選択ボタン
- ⑥ 2.1.6 ログ表示
- ⑦ 2.1.7 サムネイル表示
- ⑧ 2.1.8 AVI 自動作成イベント状態表示

2.1.1 スタートボタン

クリックすることで「ソフトウェアバージョン」項目が表示されます。 詳細は 2.5「ソフトウェアバージョン情報」を参照ください。 2.1.2 メニューバー

・クリックすることで各項目のメニューが表示されます。 メニューの内容については 2.2「設定」、2.3「ログ操作・状況表示」、2.4「ハード情報参照」 を参照ください。

	V/AI	ラー監視システム ≪ VAD-2	000SR》		-	•	x
として、「「「「「」」」の「「「」」の「「」」の「「「」」の「「」」の「「」」の「「							
🔊 起動時 🔲 キャブチャ設定	🐗 テキスト読み上げ	😂 しきい・マスク値設定	📍 VAD接続設定				_
🧑 時刻同期 🛍 設定ファイル保存	🛞 VAD アラーム	🎞 サムネイル表示設定	🔘 ブレーヤー接続設	定			
🗐 ログ保存							
97 2 77	アラーム通知	アラーム監視	接続管理				
2012/10/03 14:00:17 OIII		기리면(칭	20	127 107 00 10:03:03	00.00.00		
2012/10/03 14:00:17 Ch1	2系 音声 Ch2(R) レベノ	レ高回復	201	12/10/03 13:59:39	00:00:38		
2012/10/03 14:00:40 Ch2	1系 音声 Ch1(L) レベル	/高回復	201	12/10/03 13:59:45	00:00:55		

・メニュー表示状態でメニューバーをダブルクリックすることでメニューの下に ボタンが表示されます。

						х
と設定	ログ操作・状況表示 パ	ード情報参照				
🔊 起動時	🗖 キャプチャ設定	🕠 テキスト読み上げ	🗦 しきい・マスク値設定	T VAD接続設定		
👩 時刻同期	🛍 設定ファイル保存	🛞 VAD アラーム	🎫 サムネイル表示設定	🔘 ブレーヤー接続設定		
📓 ログ保存						
	システム	アラーム通知	アラーム監視	接続管理		
検知停止 ③ エラー	Chl	Ch2				
	設定1	設定10				

・メニュー及びボタン表示状態でメニューバーをダブルクリックすることでメニューが非表示に なります。

											х
	S	設定	ログ操作・状況表示	八一ド情報参照							
	() () I	知停止 ラー	Ch1	Ch2							
'		- 1	設定1	設定10							
	Dグ日#	寺	CH名称	内容		マスク (秒)	エラー検知日時	エラー維続時間	VIT	с	
1	2012/1	10/03-11:	46:48 Ch2	2系 音声 Ch1(L) レイ	いん高回復		2012/10/03 11:45:19	00:01:29			

2.1.3 エラー検知開始・停止ボタン

・エラー検知停止中にクリックすることでエラー検知を開始します。

・エラー検知中にクリックすることでエラー検知を停止します。



(1) エラー状況表示及び確認動作



(2)接続状況表示

VAD-2000SR および録画装置と通信が切断された場合はボタン上にエラー表示されます。



(3)ミュート設定

チャンネル毎に検知の対象から除外することができます。 ボタン上で右クリックし、表示される「ミュート設定」をクリックします。



ミュート中はボタン上にミュート表示されます。



ミュートを解除するには、ミュート状態のボタン上で右クリックし、表示される 「ミュート解除」をクリックします。



2.2.8「VAD しきい値・マスク値設定」にて設定したしきい値、マスク値のパターンを 各チャンネルに割り当てます。

ボタンエリア内で右クリックし、表示されるリストより選択します。

	-					
	😅 設定 口グ	衆作・状	況表示	$\overline{\kappa} = r$	/ード情報参	照
		Ch			C	h2
Ľ		設定		- - 20- 11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	=几-	至10
Г	ログ日時	CH 名称	_	設建工		
-	2012/10/03 11:46:48	Ch2		設定2		盲 Ch1(L) し
Þ	2012/10/03 11:46:59	Ch2		設定3		象(ベース) :
	2012/10/03 11:46:59	Ch2		設定4		象(ベース) 1
	2012/10/03 11:47:04	Ch2		設定5		象(ベース):
	2012/10/03 11:47:04	Ch2		EX AE J		象(ベース) 1
_	2012/10/03 11:47:09			設定6		-監視シスラ
_	2012/10/03 11:47:39			設定7		-監視シスラ
_	2012/10/03 11:47:39	Ch1		設定8		設定が正常
_	2012/10/03 11:47:39	Ch1		±2v≑0		設定が正常
_	2012/10/03 11:47:40	Ch2		attes		設定が正常
_	2012/10/03 11:47:40	Ch2		設定1	0	設定が正常
	10010/10/00 11.47.40		_			別、 し十五少士(一

2.1.6 ログ表示

・各画音エラー、各イベントの発生日時と内容を表示します。

・エラーログをクリックするとサムネイルが表示されます。



- エラーログまたはサムネイルをダブルクリックするとプレーヤーにて AVI 作成および 再生準備が行われます。
- ・自動作成された AVI ファイルや以前作成した AVI ファイルがある場合は、作成を行わずに再 生準備が行われます。

同一時刻のログにて自動作成された AVI ファイルとダブルクリックにて作成した AVI ファイルが両方ともある場合は、自動作成された AVI ファイルの再生準備が行われます。

2.1.7 サムネイル表示

・2.2.9「サムネイル表示設定」で設定を行なったエラーが発生した際にエラーの サムネイルが表示されます。



- ・サムネイルは最新5件のものが表示されます。
- ・サムネイルをダブルクリックするとプレーヤーにて AVI 作成および再生準備が行われます。
- ・自動作成された AVI ファイルや以前作成した AVI ファイルが存在する場合は、作成を 行わずに再生準備が行われます。

2.1.8 AVI 自動作成イベント状態表示

- ・監視システム内で保持している AVI 自動作成イベントの残数、 作成予定 AVI ファイルの合計秒数および自動作成の状態を表示しています。
- ・映像比較エラーによる AVI 自動作成は アラーム 残AVI作成数:0 残AVI作成秒数:0秒 に 表示されます。

・AVI 自動作成イベントが無い場合は	自動作成:待機中 と表示されます。
・AVI 自動作成を行なっている場合は	自動作成:作成中 と表示されます。
・AVI 自動作成イベントが存在するが、	HDD 残容量が規定値に達している場合、
	and and all the later of the

または録画装置との通信が切断状態である場合は 自動作成:停止中 と表示されます。

2.2 設定

2.2.1 起動時設定

◇ソフトウェア起動時に前回設定したミュート状態の復元の有無を設定します。 ◇VAD-2000SR 及び SR2000 のヘルスチェック間隔を設定します。

起動時設定
ミュート機能 ▼ミュート状態を保存し、システム起動時ミュート状態を復元する
ヘルスチェック間隔 10 🕃 秒間隔でヘルスチェックを行います
OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「起動時」をクリックします。

(2)設定

①ミュート機能

チェックを入れることでシステム終了時にミュート状態を保存し、システムを起動した 際にはミュート状態を復元します。

②ヘルスチェック間隔

- ・設定した間隔でヘルスチェックを行ないます。
- ・値の範囲は 10~3600 秒です。

(3) 設定の保存と本画面の終了

ОК

┛ ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.2 時刻同期設定

◇ 時刻を補正するための時刻取得方法と補正のタイミングを設定します。

時刻同期設定
時刻の取得方法 外部からの時刻をPCに設定すると共にハードウェアへの設定も行います。
◎ NTPサーバーを使用して時刻合わせを行う NTPサーバーのIPアドレス
◎ HTTPを使用して時刻合わせを行う(webサーバーが必要です) WebサーバーのIPアドレス
◎ 外部から時刻を取得しない(PCの時刻をハードウェアに設定します)
時刻合わせの契機
◎ 1日に2回 🛛 🕃 時と 0 🕃 時に合わせます
◎ 毎日 2 🗟 時に合わせます
◎ 経過時間 60 豪 分毎に合わせます
今すぐ時刻合わせを行う
 OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「時刻同期」をクリックします。

(2)時刻の取得方法

①NTP サーバーを使用

◎ NTPサーバーを使用して時刻合わせを行う にチェックをし、NTP サーバーの IP アドレスを 入力します。

②HTTP サーバーを使用

HTTPを使用して時刻合わせを行う(webサーバーが必要です)にチェックをし、
 WEB サーバーの IP アドレスを入力します。

③外部から時刻を取得しない

◎ 外部から時刻を取得しない(PCの時刻をハードウェアに設定します) にチェックをします。 この設定をした場合であってもPCとVAD-2000SR・SR2000の時刻同期は行ないます。

(3)時刻補正のタイミング

①日に2回

◎ 1日に2回 1 등 時と 13 등 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行なう時刻を入力します。

2日に1回

●毎日 2 등 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行なう時刻を入力します。

③日に数回

・設定範囲は<0>~<1440>です。

※間隔に<0>分を設定した場合は、時刻補正を行いません。 ※23:55:00~0:05:00 の間は時刻補正を行ないません。

(4)手動時刻合わせ機能

設定されている時刻の取得方法を使用し、手動での時刻合わせを行います。 今すぐ時刻合わせを行う ボタンをクリックします。

(5) 設定の保存と本画面の終了

(6)本画面の終了

OK

キャンセル ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.3 ログ保存設定

◇ 発生したログの保存フォルダを設定します。

ログ保存設定		٢
✓ ログをファイルに係 ※保存フォルダ インストールフ	保存する にフルパスを設定しなかった場合、 フォルダ配下に入力したフォルダを作成して保存します.	
保存フォルダ	C:¥Program Files¥ALVIX¥VAD2000SR 選択	
	OK キャンセル	

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「ログ保存」をクリックします。

(2)設定

①ログをファイルに保存する

チェックを入れることでログをCSV 形式で保存します。

②保存フォルダ設定

- ・CSV ファイルを保存するフォルダを設定します。
- · 選択 をクリックすることでフォルダー参照画面を表示して保存フォルダを選択する、

もしくは直接パスを入力してください。

- ・設定できるパスは200文字までです。
- ※保存時は設定フォルダの配下に"年"フォルダ及び"月"フォルダを自動作成し、 その配下に"ログ_年月日.csv"という形式で保存されます。

(3) 設定の保存と本画面の終了

(4)本画面の終了

OK

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。 ◇ AVIの自動作成及び手動作成の設定を行ないます。

キャプチャ設定
再生時間 前 2 ● 秒 後 2 ● 秒
保存設定
保存フォルダ設定
※設定変更時にプレーヤーの再起動を行ないます。
C:¥Program Files¥ALVIX¥VAD2000SR¥AVI 選択
HDD残容量によるファイル制御
HDD容量が以下の容量未満となったときに自動的に古いファイルを削除します。
100 🔘 MByte 🔘 GByte
■ AVI作成イベント削除
肖『珍余
OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「キャプチャ設定」をクリック します。

(2)アラーム設定

①再生時間

- ・作成する AVI の再生時間を設定します。アラーム発生時刻からの前・後秒を設定します。
- ・値の範囲は前秒が0~30秒、後秒が1~30秒です。
- ・自動作成の場合はアラーム発生~回復間の前後に設定秒数が追加されます。

2保存フォルダ設定

- ・AVIファイルを保存するフォルダを設定します。
- · 選択 をクリックすることでフォルダー参照画面を表示して保存フォルダを選択する、

もしくは直接パスを入力してください。

・設定できるパスは200文字までです。

※設定変更を反映する際にはプレーヤーの再起動を行ないます。

③HDD 残容量によるファイル制御

- ・AVIファイル保存フォルダの HDD 残容量が設定した容量に達した際に古いファイル から自動で AVI ファイルを削除します。
- ・値を入力し、単位を OMByte または OGByte から選択して下さい。

④AVI 作成イベント削除

削除

」をクリックすると以下のダイアログが表示されます。

情報	×
1	3件のアラーム発生によるAVI作成イベントを 削除しますがよろしいですか?
	(まい(Y) いいえ(N)

はい(Y) をクリックすることでアラーム発生による AVI 作成イベントを

削除します。

・削除可能なイベントが無い場合は以下のダイアログが表示されます。



(3) 設定の保存と本画面の終了

(4)本画面の終了

OK

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.5 設定ファイル保存

◇各設定ファイルを保存します。

設定ファイル保存	
※保存フォルダにフルパスを設定しなかった場合、 インストールフォルダ配下に入力したフォルダを作成して保存します。	
保存フォルダ C:¥Program Files¥ALVIX¥VAD2000SR¥ftyufgt 選択	
保存 キャンセル	

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「設定ファイル保存」をクリック します。

(2)設定

- ・監視システムでの各設定ファイルを保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックすることでフォルダー参照画面を表示して保存フォルダを選択する、 もしくは直接パスを入力してください。
- ・設定できるパスは200文字までです。

(3)設定ファイルの保存と本画面の終了

保存 ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

2.2.6 テキスト読み上げ

◇音声メッセージ読み上げの有無や連続再生の設定を行ないます。

テキスト読み上げ				
▼ 音声メッセージを読み上げる				
📄 映像・音声エラー発生時、確認操作または、エラー回復まで連続再生とする				
- 7 .2.				
テキスト/よみあげたわ、かぶしきがいしゃ:アクエ'スト/の、アクエ'ストー'ク/をしようしていま'す。				
再生				
OK キャンセル				
音声テキスト作成時の注意事項				
 ・ 全角ひらがな、全角力タカナを使用してください。漢字、英数字、半角文字は読めません。 数字は全て全角ひらがなに置き換えてください。 例、「1」→「いち」、「23」→「にじゅうさん」 				
 長音や二重母音は、必要に応じて長音記号の「ー」を指定してください。 例、「おんせー」「きごー」 				
 アクセント記号(')について 音の高さが「高→低」に変化する部分にアクセント記号をつけると、スムーズな発声になります。 				
 句切記号について 全角句点(、)位置にポーズ(無音区間)が入ります。次の音が高くなります。 半角句点()を設定すると、短いポーズが入ります。 半角()を設定すると、次のアクセント句が比較的高い音で始まります。 半角(/)を設定すると、通常のアクセント句の句切に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。 				
※ 本製品は、音声合成ミドルウェアとして株式会社アクエスト社のAquesTalkを使用しています。				

(1) 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム通知」カテゴリー内→「テキスト読み上げ」を クリックします。

(2) テキスト読み上げの設定

- ・ ▼音声メッセージを読み上げる をチェックすることでエラー発生時に

 2.2.7「VAD アラーム通知設定」にて設定した音声メッセージを読み上げます。
 ・システムエラー発生時は、固定の音声メッセージを読み上げます。
- (3) 連続再生設定

✓映像・音声エラー発生時、確認操作または、エラー回復まで連続再生とするをチェックすることで
 エラー発生時に確認操作またはエラー回復まで連続で音声メッセージを読み上げます。
 ※(2)にて ■音声メッセージを読み上げるのチェックを外すとこの機能は無効となります。

(4) 音声メッセージの作成と再生

テスト内の文章を読み上げます。

再生 ボタンをクリックするとテキストボックス内の文章を1回読み上げます。 ※(2)にて ■音声メッセージを読み上げるのチェックを外すとこの機能は無効となります。

(5)音声テキスト作成時の注意事項

音声メッセージを設定する際の注意事項です。こちらを参考にメッセージを作成します。

(6) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすると、設定を保存し本画面を閉じます。

(7)本画面の終了

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。 2.2.7 VAD アラーム通知設定

◇エラー発生時のアラームログ・アラームログ色・音声メッセージの設定を行ないます。

🕵 VADアラーム通知設定						x
【設定一覧】 ※回復時のログは、発生エラーログ中の文言"発生"または、"異常"を"回復"に置き換えて表示します。						
名称	項目0	項目1		項目2	項目3	
VADステータス	VADステータス	正常 VADステータス	電源異常発生	VADステータス 同録ユニット異常	ダVADステータス 音	請比較
[SDI#1]映像信号状態		1系 同期断				
[SDI#1]ベース ステータス		1系 映像(べ)	-ス) ブラック発生	1系 映像(ベース) フリーズ発生		
[SDI#1]ベース フリーズ&無音		1系 映像(べ-	-ス) フリーズ&無音			
[SDI#1]ベース 輝度レベル		1系 映像(べ)	ス) 輝度レベル上降	1系 映像(ベース) 輝度レベル下	β.	
[SDI#1]ベース 色差レベル		1系 映像(べ-	ス) 色レベル上限コ	[1系 映像(ベース) 色レベル下限	I	
[SDI#1]ウィンドウ ステータス		1系 映像(ウイ	ンドウ) ブラック発生	1系 映像(ウインドウ) フリーズ発	Ξ	
[SDI#1]ウィンドウ フリーズ & 無音		1系 映像(ウイ	ンドウ) フリーズ&無			
[SDI#1]ウィンドウ 輝度レベル		1系 映像(ウイ	ンドウ) 輝度レベル	1系 映像(ウインドウ) 輝度レベル	P	
[SDI#1]ウィンドウ 色差レベル		1系 映像(ウイ	ンドウ) 色レベル上	1系 映像(ウインドウ) 色レベルト	7	-
<						F.
名称	項目0	項目1		項目2	項目3	
VADステータス						
[SDI#1]映像信号状態		どうきだん/です	ъ.			
[SDI#1]ベース ステータス		ブラック/です。		フリーズ/です。		
[SDI#1]ベース フリーズ & 無音		ふりーずあんどさ	らおん/です。			
[SDI#1]ベース 輝度レベル		きどれ'べる/じょ	うげんエラー/です。	きどれ'べる/か'げんエ'ラー/で'す。		
[SDI#1]ベース 色差レベル	1	しきされ'べる/じ	ほうげんエラー/です	しきされ'べる/か'げんエ'ラー/で'す。		
[SDI#1]ウインドウ ステータス		ブラック/です。		フリーズ/で'す。		
[SDI#1]ウインドウ フリーズ & 無音		ふりーずあんどさ	らおん/です。			
[SDI#1]ウインドウ 輝度レベル		きどれ'べる/じょ	うげんエラー/です。	きどれ'べる/か'げんエ'ラー/で'す。		
[SDI#1]ウインドウ 色差レベル		しきされ'べる/じ	ほうげんエラー/です	しきされ'べる/か'げんエ'ラー/で'す。	>	-
Image: A state of the state						P.
【編集】設定一覧より編集	ミする項目をクリック	っしてください。				
項目名	コマラームログ		音声:	メッヤージ		
	VADステータス J	 F常				
	VADステータス 🕯	電源異常発生				
	VADステータス F	司録ユニット異常発生				
音声比較ユニット異常	VADステータス Ŧ	音声比較ユニット異常発生	E			
ファン異常	VADステータスで					
温度異常	VADステータス	温度異常発生				
メインユニット異常	VADステータス	メインユニット異常発生				
起動中	VADステータス	起動中				
※ アラームログ編集セル 表示色を変更できまる	- を右クリックすると す		更新 やr)直し 再生	i	
					開じ	5

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム通知」カテゴリー内→「VAD アラーム」を クリックします。

(2)設定

①アラームログの設定

- ・【編集一覧】からエラーの種類を選択します。
- ・【編集】エリアの「アラームログ」にてログを設定します。

②アラームログ色の設定

・【編集一覧】からエラーの種類を選択します。

クリックすることで以下の画面を表示します。

色の設定			
基本色(B):			
作成した色(C):			
色の作成(D) >>			
OK キャンセル			

・設定する色を選択します。

•	色の作成(1)>> をクリックすること	で色作成画面を表示し、
	任意の色を作成して	色の追加(A)	〕 をクリックする

ことで作成した色を選択することが出来ます。

基本色(B):			
作成した色(C):			
		色合()(E): 0	赤(R): 255
		∰やかざ(S): 240	緑(G): 0
色の作成(D) >>	色 純色(0)	明るさ(L): 120	春(U): 0
OK キャンセル		色の追加(A)	

ок	をクリックして色を設定します。
	「ビノフノノレモロは以上しより。

③音声メッセージの設定

・【編集一覧】からエラーの種類を選択します。

・【編集】エリアの「音声メッセージ」にてテキスト読み上げ内容を設定します。

・ 再生 をクリックすることで音声メッセージが再生されます。

・
をクリックすることで音声テキスト作成時の注意事項が表示されます。

情報
 ・ 全角ひらがな、全角カタカナを使用してください。漢字、英数字、半角文字は読めません。 数字は全て全角ひらがなに置き換えてください。 例. 「1」 → 「いち」、 「23」 → 「にじゅうさん」 ・ 長音や二重母音は、必要に応じて長音記号の「-」を指定してください。 例. 「おんせ-」 「きご-」
 ・ アクセント記号(') について 音の高さが「高→低」に変化する部分にアクセント記号をつけると、スムーズな発 声になります。
 ・ 句切記号について 全角句点(、) 位置にポーズ(無音区間)が入ります。次の音が高くなります。 半角句点(,) を設定すると、短いポーズが入ります。 半角(;) を設定すると、次のアクセント句が比較的高い音で始まります。 半角(/)を設定すると、通常のアクセント句の句切に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。
ОК

(3)設定のやり直し

^{やり直し}をクリックすることで設定変更前状態に戻すことが出来ます。

(4)設定の更新

更新 をクリックすることで設定を更新します。

※設定の更新はエラー項目毎に行なってください。

更新ボタンを押さずにエラー項目を移動すると設定内容は更新されません。

(5)本画面の終了

開じる
ボタンをクリックします。本画面を閉じます。

2.2.8 VAD しきい値・マスク値設定

◇ VAD に設定するしきい値とマスク値を編集・設定します。

10 種類のしきい値・マスク値のパターンを登録することができます。

^{設定} (2)	(3)	
設定Ch 設定1	▼ 名称変更 設定1	(5)
しきい/値設定 マスク値設定 (4)	子画面座標 映像レベル 音声レベル 音声チャンネル 時 水平開始座標(X1) 0 水平総了座標(X2) 0 垂直開始座標(Y1) 0 垂直線了座標(Y2) 0 子画面確認 ※おおよそのイメージが 右側に表示されます。	映像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他
		(7) (8) (6) OK キャンセル 適用

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム監視」カテゴリー内→「しきい・マスク値設定」を クリックします。

(2)設定 Ch の選択

10パターンの設定を登録できます。 登録する設定番号を選択します。



(3) 設定 Ch 名称の変更

各設定の名称を変更できます。

(4)しきい値・マスク値設定画面の切り替え

表示したい設定画面を選択します。

(5)しきい値設定画面の切り替えタブ

しきい値設定は各タブをクリックすることで設定画面を表示します。

(6)設定値の保存

適用 ボタン

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(7) 設定の保存と本画面の終了

OK

____ ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(8)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

** トラックバーの操作方法 **
▼ をドラッグ(マウスの左ボタンを押したまま)、または、 をクリックし キーボードの「←」「→」キーで左右に動かします。
設定値はトラックバーの右端に表示されます。

- 2.2.8.1 しきい値設定 子画面座標
- ◇ベース画面のエラー検知とは別に エラー検知を行う領域(子画面)を指定します。 子画面でエラーが発生した場合、ベース画面のエラーとは別にエラーログを表示します。 全て'O'の場合は子画面のエラー検知は行いません。
 - <ベース画面・子画面について>



- ・子画面を設定するとオレンジ枠・内部半透明の青で表示されます。
- ・子画面で検知するエラーはブラック、フリーズ、フリーズ&無音、 輝度レベル上限・下限エラー、色レベル上限・下限エラーです。
- ・子画面を設定すると、ベース画面のエラー検知範囲は子画面を除いた部分になります。
- ・VAD アラーム・マスク値・サムネイル表示設定画面では"子画面"は"ウィンドウ" という表現になっています。

Ver2.3

設定		×
設定 設定1 しきい値設定 マスク値設定	・ 名称変更 設定1 子画面座標 映像レベル 音声レベル 音声チャンネル 映像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他 水平開始座標(X1) 0 水平校了座標(X2) 0 垂直開始座標(Y1) 0 垂直線了座標(Y2) 0 子画面確認 **おおよそのイメージが 右側に表示されます。	
		1

①水平開始座標(X1)

設定値は<0>~<719> ピクセルです。

②水平終了座標(X2)

水平終了座標-水平開始座標 ≤100の場合、子画面は無効となります。 設定値は<0>~<719> ピクセルです。

③垂直開始座標(Y1)

設定値は<0>~<485> ピクセルです。

④垂直終了座標(Y2)

垂直終了座標-垂直開始座標 ≤30の場合、子画面は無効となります。 設定値は<0>~<485>ピクセルです。

⑤ 子画面確認 ボタンをクリックすると、おおよそのイメージを画面右側に表示します。

2.2.8.2 しきい値設定 - 映像レベル

◇ 映像レベルエラーを判断するしきい値を設定します。

設定		×
設定Ch 設定1	▼ 名称変更 設定1	
しきい値設定	子画面座標 映像レベル 音声レベル 音声チャンネル 映	像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他
	映像エラー検出設定 フリーズエラー検出面積(%)	98.0
	ブラックエラー検出面積(%)	98.0
	レベルエラー 下限	上限
	輝度(IRE) -4	104
	クロマ(IRE) -54	54
		OK キャンセル 適用

①フリーズエラー検出面積(%)
 指定以上の割合のドット数がフリーズの場合、フリーズエラーとします。
 設定値範囲は<95.0>~<98.9>% です。
 初期値は<98>です。

②ブラックエラー検出面積(%)
 指定以上の割合のドット数がブラックの場合、ブラックエラーとします。
 設定値範囲は<95.0>~<98.9>%です。
 初期値は<98>です。

③輝度レベルエラー上限・下限

輝度レベルが上限値以上、または、下限値以下になるとエラーとします。 設定値範囲は<-7>~<109>IREです。 初期値は下限が<-4>、上限が<104>です。

④クロマレベルエラー上限・下限
 クロマレベルが上限値以上、または、下限値以下になるとエラーとします。
 設定値範囲は<-57>~<57>IREです。
 初期値は下限が<-54>、上限が<54>です。

2.2.8.3 しきい値設定 — 音声レベル

◇ 音声レベルの高/低エラーを判断するしきい値を設定します。

設定		×
設定Ch 設定1	▼ 名称変更 設定1	
しきい値設定	子画面座標 映像レベル 音声レベル 音声チャンネル 映像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他	
177 IESSAE	SDI#1音声(dB) Cb1(L) Cb2(R) Cb3(C) Cb4(LFE) Cb5(LS) Cb2(RS) Cb7(L+) Cb8(R+)	
	無音 -50 ▼ -50 ▼ -50 ▼ -50 ▼ -50 ▼ -50 ▼ -50 ▼	
	_SDI#2 辛害(dR)	
	Ch1(L) Ch2(R) Ch3(C) Ch4(LFE) Ch5(LS) Ch6(RS) Ch7(Lt) Ch8(Rt)	
	無音 -50 マ	

①SDI#1/SDI#2 音声レベル高 しきい値
 設定されたしきい値以上となった場合、レベル高エラーとします。
 設定値範囲は<-50>~<0>dB です。
 初期値は<-20>です。

②SDI#1/SDI#2 音声レベル低 しきい値
 設定されたしきい値以下となった場合、レベル低エラーとします。
 設定値範囲は<-50>~<0>dB です。
 初期値は<-40>です。

③SDI#1/SDI#2 音声無音 しきい値
 設定されたしきい値以下となった場合、無音エラーとします。
 設定値範囲は<-60>~<0>dBです。
 初期値は<-50>です。

◇ 音声チャンネルについて設定します。

設定		x
設定Ch 設定1	▼ 名称変更 設定1	
しきい値設定	子画面座標 映像レベル 音声チャンネル 映像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他 SDI#1 音声チャンネル配置 ARIB ▼ デフォルト音声モード M ▼ 音声エラーマスク方法 マスクしない ▼	
	SDI#2 音声チャンネル配置 ARIB ▼ デフォルト音声モード M ▼ 音声エラーマスク方法 マスクしない ▼	
	OK キャンセル 適用	11

①SDI#1/SDI#2 音声チャンネル配置 音声チャンネルの配置を選択します。

②SDI#1/SDI#2 デフォルト音声モード 局間情報が無い場合のデフォルト音声モードを設定します。

③SDI#1/SDI#2 音声エラーマスク方法 各音声チャンネルでエラー発生時に、どのようにマスクを行うか設定します。

「SDI#1/2の局間情報に従ってマスク」を選択すると、各音声モードに対応した音声 Chのエラーのみ検知されます。

◇ 映像比較エラーを判断するしきい値を設定します。

設定	
設定Ch 設定1	▼ 名称変更 設定1
しきい値設定 マスク値設定	子画面座標 映像レベル 音声レベル 音声チャンネル 映像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他 ブロックエラー ※映像比較は画面全体を96ブロックに分割し、そのブロック内にエラーがあった時に1ブロックがエラーと判断されます。この設定値を超えた時に通知が行われます。 検知感度 検知しやすい 検知しにくい 4 (ブリフィルタ設定) 加度差 通知ブロック数 ※IIFーブロック数が本設定値を超えた時に通知が行われます。 0
	色差比較エラー ベウトル差 10 度 OK キャンセル 適用

①検知感度

プリフィルタ強=検知感度弱[O]~プリフィルタ弱=検知感度強[4]となります。 設定値範囲は<O>~<4> です。 初期値は<2>です。

②輝度差

比較エラーとする輝度差を IRE 単位で設定します。画像をドット単位で比較し、 設定値以上の輝度差があるドットを不一致とします。 設定値範囲は<0>~<99>IRE です。 初期値は<15>です。

③通知ブロック数

SDI#1 と SDI#2 の映像の比較を行い、不一致ブロック数が指定を超える場合、 エラーとします。 設定値範囲は<0>~<95>です。

初期値は<0>です。

④色差比較エラー

SDI#1 と SDI#2 の映像の色差を比較した結果、ベクトル差が指定値を超える場合に エラーとします。 設定値範囲は<0>~<179>度です。 初期値は<10>です。 ◇ 画角と SDI 入力サイズ、位置を設定します。

設定	
設定Ch 設定1	◆ 名称変更 設定1
しきい1値設定 マスク値設定	子画面座標 映像レベル 音声レベル 音声チャンネル 映像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他 画角設定 SDI#1 スクイーズ(4:3)/フル(16:9) SDI#2 スクイーズ(4:3)/フル(16:9) (1:3)/フル(16:9) (1:3)/フル(16:9) (1:3)/フル(16:9) (1:3)/フル(16:9) (1:3)/フル(16:9) (1:3)/フル(16:9) (1:3)/フル(16:9)
	OK きゃンセル 適用

①画角設定

SDI#1、SDI#2の画角を設定します。

②水平サイズ調整

SDI#1 または SDI#2 の入力タイミングが HD-SDI の場合、設定値範囲は <420~580>です。

SDI#1/SDI#2の入力タイミングがともに SD-SDI の場合、設定値範囲は <460~540>です。

③垂直サイズ調整

SDI#1 または SDI#2 の入力タイミングが HD-SDI の場合、設定値範囲は <410~590>です。 SDI#1/SDI#2 の入力タイミングがともに SD-SDI の場合、設定値範囲は

<460~540>です。

④水平位置調整

設定値は<420~580>ドットです。

⑤垂直位置調整

設定値は<475~525>ドットです。

◇ 音声比較エラーを判断するしきい値を設定します。

設定		×
設定Ch 設定1	▼ 名称変更 設定1	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	OK キャンセル 適	用

①音声比較しきい値

音声比較の相関を元にした不一致度が設定値を上回った場合に不一致とします。 設定値範囲は<0>~<99> です。 初期値は<50>です。

②音声比較モジュール1へ入力する音声チャンネル

- ・音声比較モジュール 1 で音声比較を行なう音声チャンネルを SDI#1/SDI#2 から それぞれ選択します。
- ・ここで選択されたものが 2.2.8.8「しきい値設定 その他」 ② "同録音声チャンネル 選択モニタ音声"にて設定する SDI#1/SDI#2 の ch1/ch2 となります。
- ・「ダウンミックス」を選択した場合は

ch1,3,5のダウンミックス/ch2,3,6のダウンミックス が入力されます。

・「局間情報に従って選択」を選択すると、局間情報の音声モードと、 2.2.8.4「しきい値設定 – 音声チャンネル」①"音声チャンネル配置"にて設定した 音声チャンネル配置より、対応した音声 ch を設定します。 対応表 2.2.8.7-1 及び 2.2.8.7-2 を記載してありますので参照ください。 ③音声比較モジュール2へ入力する音声チャンネル

- ・音声比較モジュール2で音声比較を行なう音声チャンネルを SDI#1/SDI#2 から それぞれ選択します。
- ・ここで選択されたものが 2.2.8.8「しきい値設定 その他」 ② "同録音声チャンネル 選択モニタ音声"にて設定する SDI#1/SDI#2 のモニタ音声 ch3/ch4 となります。
- ・「ダウンミックス」を選択した場合は ch1,3,5のダウンミックス/ch2,3,6のダウンミックス が入力されます。
- ・「局間情報に従って選択」を選択すると、局間情報の音声モードと、 2.2.8.4「しきい値設定 – 音声チャンネル」①"音声チャンネル配置"にて設定した 音声チャンネル配置より、対応した音声 ch を設定します。 対応表 2.2.8.7-1 及び 2.2.8.7-2 を記載してありますので参照ください。

表 2.2.8.7-1 音声チャンネル配置・局間情報による音声チャンネル対応表(音声モード有)

	「デフォルト音声モード」	「音声チャンネル		音声比較 ch
同间情報の音声セート	設定	配置」設定	首声応戦 ch(モンユールイ)	(モジュール2)
Μ		ARIB	ch1/ch1 (*1)	比較しない
		AD-1080i(AAC)	ch1/ch1 (*1)	比較しない
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch1 (*1)	比較しない
2M,S		ARIB	ch1/ch2	比較しない
		AD-1080i(AAC)	ch1/ch2	比較しない
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	比較しない
3M/S+M		ARIB	ch1/ch2	ch3/ch3 (*2)
	(影響しない)	AD-1080i(AAC)	ch1/ch2	ch7/ch7 (*3)
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	ch3/ch3 (*2)
5.1		ARIB	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	比較しない
		AD-1080i(AAC)	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	比較しない
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	比較しない
5.1+S		ARIB	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	ch7/ch8
		AD-1080i(AAC)	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	ch7/ch8
	-	AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	ch3/ch4
4M,5M,6M,7M,8M,		ARIB	ch1/ch2	ch3/ch4
2S,S+D,3S,4S,3/0,		AD-1080i(AAC)	ch1/ch2	ch7/ch8
2/1,3/1,2/2,3/2,				ala 2 /ala 1
3/1+S,3/2+S		AD-TUSU((PCIVI)	cn i/cnZ	cn3/cn4

*1: ch1 の音声を ch2 にコピーし、ch1/ch2 とも同じ音声を出力

*2: ch3 の音声を ch4 にコピーし、ch3/ch4 とも同じ音声を出力

*3:ch7の音声をch8にコピーし、ch7/ch8とも同じ音声を出力

*4 : DM:ダウンミックス

表 2.2.8.7-2 音声チャンネル配置・局間情報による音声チャンネル対応表(音声モード無)

局間情報の音声モード	「デフォルト音声モード」	「音声チャンネル	 音声比較 ch(モジュール 1)	音声比較 ch
	設定	_ 配置」設定		(モジュール2)
	Μ	ARIB	ch1/ch1 (*1)	比較しない
		AD-1080i(AAC)	ch1/ch1 (*1)	比較しない
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch1 (*1)	比較しない
	2M,S	ARIB	ch1/ch2	比較しない
		AD-1080i(AAC)	ch1/ch2	比較しない
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	比較しない
(局間情報無し)	3M/S+M	ARIB	ch1/ch2	ch3/ch3 (*2)
		AD-1080i(AAC)	ch1/ch2	ch7/ch7 (*3)
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	ch3/ch3 (*2)
	5.1	ARIB	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	比較しない
		AD-1080i(AAC)	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	比較しない
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	比較しない
	5.1+S	ARIB	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	ch7/ch8
		AD-1080i(AAC)	ch1,3,5DM/ch2,3,6DM(*4)	ch7/ch8
		AD-1080i(PCM)	ch1/ch2	ch3/ch4
	4M,5M,6M,7M,8M,	ARIB	ch1/ch2	ch3/ch4
	2S,S+D,3S,4S,3/0,	AD-1080i(AAC)	ch1/ch2	ch7/ch8
	2/1,3/1,2/2,3/2,		ch1/ch2	ala 2 /ala 4
	3/1+S,3/2+S	AD-1080((PCM)		cn3/cn4

*1: ch1 の音声を ch2 にコピーし、ch1/ch2 とも同じ音声を出力

*2: ch3の音声を ch4 にコピーし、ch3/ch4 とも同じ音声を出力

*3: ch7の音声を ch8 にコピーし、ch7/ch8 とも同じ音声を出力

*4 : DM:ダウンミックス

2.2.8.8 しきい値設定 - その他

設定		x
設定Ch 設定1	► 名称変更 設定1	
しきい値設定	子画面座標 映像レベル 音声レベル 音声チャンネル 映像比較 映像サイズと位置 音声比較 その他	_
	同錄設定	
	同録映像/モニタ映像選択 SDI#1, SDI#2, 合成画像, 音声バーを分割出力 ▼	
	同録音声チャンネル選択 SDI#1モニタ音声 ch1/ch2 ▼	
	モニタ表示設定	
	子画面表示 表示しない ▼	
	● スペノイレイ設定 0~150:設定したフレーム数がディレイ値となります。	
	ディレイ設定 999 999 998:音声比較モジュール2のディレイ値を使用 00001101110111011101110111011101110	
	99951映塚から計測	
	再 計測実行	
	OK キャンセル 適用	

①同録映像/モニタ映像選択

同時録画を行う映像とモニタに表示する映像を選択します。

②同録音声チャンネル選択

同時録音を行う音声チャンネルを選択します。

③モニタ表示設定

2.2.8.1 「しきい値設定 - 子画面座標」で設定した子画面を表示するかどうかを設定します。

「表示しない」を設定した場合は子画面のエラー検知は行ないません。

④映像ディレイ設定

設定値範囲は<0>~<150>、<997>~<999>です。 <997>は音声比較モジュール1のディレイ値を使用します。 <998>は音声比較モジュール2のディレイ値を使用します。 <999>は映像からディレイ値を計測します。

⑤音声ディレイ値再計測

再計測実行
 ボタンをクリックすると、音声のディレイ値を再測定します。
 ※入力信号を別のものに切り替えた直後は音声比較エラーが頻発します。
 時間が経過することで自動的に音声ディレイ値を計測し、音声比較エラーは
 発生しなくなりますが、このボタンを押すことで即座に音声ディレイ値計測を
 行ない、音声比較エラーの頻発を防ぐことが出来ます。

- ◇ VAD にて発生したエラーに対するマスク値を設定します。
- ◇ マスクとはある特定のエラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を 遅らせ、マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。

設定				— X —
設定	 名称変更 設定1 比較項目以外の項目は「の」で通知しない 比較項目及び信号状態は「の」で通知しない 設定 丁ラー種別 「SO1#1]映像信号状態 [SD1#1]ベースステータス SD1#1]ベースステータス SD1#1]ベース、フリーズ & 無音 SD1#1]ベース 伸度レベル SD1#1]ベース 使差レベル SD1#1]ベース 使差レベル SD1#1]ベース 使差レベル SD1#1]ウインドウ フリーズ & 無音 SD1#1]ウインドウ ステータス SD1#1]ウインドウ フリーズ & 無音 SD1#1]ウインドウ ステータス SD1#1]ウインドウ ステータス SD1#1]ウインドウ ステータス SD1#1]音声Ch2(R)ステータス SD1#1]音声Ch2(R)ステータス SD1#1]音声Ch4(LFE)ステータス SD1#1]音声Ch5(LS)ステータス SD1#1]音声Ch6(RS)ステータス	、「1~9999」で設定規 (1、「1」で)通知すると	少数のマスクが行われます。 なります。	
			ОК	キャンセル」通用

①エラー種別選択

マスク値設定を行うエラー種別を選択します。

②エラー詳細設定

エラーのマスク値を入力します。

各項目について、次ページより説明します。

[SDI#1/#2] 映像信号状態

エラー詳細	値	内容
同期断	0~1	同期有無に変化があった場合に通知するか、しないかを
		設定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。

エラー詳細	値	内容
ブラック	0~9999	ブラックマスク時間(s)
		指定された秒数の間、黒味エラーが連続した場合エラー
		を通知します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。
フリーズ	0~9999	フリーズマスク時間(s)
		指定された秒数の間、フリーズが連続した場合エラーを
		通知します。
		※ "O"を指定した場合はエラーを通知しません。

※ブラックとフリーズが同時に通知される状態となった場合、ブラックが優先的に通知され、 フリーズは通知されません。

[SDI#1/#2] ベース/ウィンドウ フリーズ&無音

エラー詳細	値	内容
フリーズ&無音	0~9999	フリーズ&無音マスク時間(s)
		指定された秒数の間、映像がフリーズ状態かつ Ch1 と
		Ch2 の音声が両方とも無音状態が連続した場合エラー
		を通知します。
		※ "O"を指定した場合はエラーを通知しません。

*** ベース/ウィンドウとは ***

【2.2.8.1 しきい値設定-子画面座標】で設定されたベース画面と子画面(ウィンドウ)の 事をいいます。

子画面領域が設定されていない場合はウィンドウステータスを設定しても有効となりません。

[SDI#1/#2] ベース/ウィンドウ 輝度レベル

エラー詳細	値	内容
輝度レベル異常	0~9999	輝度レベル異常マスク時間(s)
		指定された秒数の間、輝度レベルエラーが連続した場合
		エラーを通知します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。
		※輝度レベルエラーのしきい値は
		【2.2.8.2 しきい値設定-映像レベル
		③輝度レベルエラー上限・下限】にて設定します。

[SD|#1/#2] ベース/ウィンドウ 色差レベル

エラー詳細	値	内容
色レベル異常	0~9999	色レベル異常マスク時間(s)
		指定された秒数の間、色差レベルエラーが連続した場合
		エラーを通知します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。
		※色差レベルエラーのしきい値は
		【2.2.8.2 しきい値設定-映像レベル
		④クロマレベルエラー上限・下限】にて設定します。

[SD #1/#2]	ⅤⅠTC状態	
エラー詳細	値	内容
VITC 状態	0~1	VITC に変化があった場合に通知するか、しないかを設
		定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※"1"を設定すると、信号に VITC がない場合
		ダミー値 "99999999" が通知されます。
		<通知項目>
		【VITC 有/無】
		①あり ②なし
		【VITC の状態】
		①ドロップフレーム ②ノンドロップフレーム
		【VITC 連続/不連続】
		①連続 ②不連続

エラー詳細	値	内容
無音	0~9999	無音マスク時間(s)
		指定された秒数の間、無音状態が連続した場合エラーを
		通知します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。
		※無音のしきい値は
		【2.2.8.3 しきい値設定-音声レベル
		③SDI#1/SDI#2 音声無音 しきい値】にて
		設定します。
レベル低	0~9999	レベル低マスク時間(s)
		指定された秒数の間、音声レベル低エラーが連続した場
		合エラーを通知します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。
		※音声レベル低のしきい値は
		【2.2.8.3 しきい値設定-音声レベル
		②SDI#1/SDI#2 音声レベル低 しきい値】にて
		設定します。
レベル高	0~9999	レベル高マスク時間(s)
		指定された秒数の間、音声レベル高エラーが連続した場
		合エラーを通知します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。
		※音声レベル高のしきい値は
		【2.2.8.3 しきい値設定-音声レベル
		①SDI#1/SDI#2 音声レベル高 しきい値】にて
		設定します。
エンベデッド	0~9999	エンベデッドオーディオ検出マスク時間(s)
		指定された秒数の間、音声がエンベデッドされていない
		状態が連続した場合エラーを通知します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。

[SD #1/#2]音声Ch1~Ch8 1kHz		
エラー詳細	値	内容
1kHz	0~9999	1kHz 検出マスク時間(s)
		指定された秒数の間、1kHz 音声信号が継続した場合エ
		ラーを通知します。
		※ "O"を指定した場合はエラーを通知しません。

[SD|#1/#2]音声Ch1(L)/Ch2(R)逆相

エラー詳細	値	内容
音声 L/R 逆相	0~9999	Ch1/Ch2 逆相マスク時間(s)
		指定された秒数の間、逆相が連続した場合エラーを通知
		します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。

[SD|#1/#2]音声Ch3(C)/Ch4(LFE)逆相

エラー詳細	値	内容
音声 C/LFE 逆相	0~9999	Ch3/Ch4 逆相マスク時間(s)
		指定された秒数の間、逆相が連続した場合エラーを通知
		します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。

[SDI#1/#2]音声Ch5(LS)/Ch6(RS)逆相

エラー詳細	値	内容
音声 LS/RS 逆相	0~9999	Ch5/Ch6 逆相マスク時間(s)
		指定された秒数の間、逆相が連続した場合エラーを通知
		します。
		※ "O"を指定した場合はエラーを通知しません。

[SD|#1/#2]音声Ch7(Lt)/Ch8(Rt)逆相

エラー詳細	値	内容
音声 Lt/Rt 逆相	0~9999	Ch7/Ch8 逆相マスク時間(s)
		指定された秒数の間、逆相が連続した場合エラーを通知
		します。
		※"O"を指定した場合はエラーを通知しません。

[映像比較] 不一致		
エラー詳細	値	内容
状態通知	0~1	映像比較エラーが発生した際、及びエラーが継続してい
		る間にエラーブロック数が変化した際にエラーブロック
		数を通知するか、しないかを設定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※映像比較エラーのしきい値は
		【2.2.8.5 しきい値設定一映像比較
		①検知感度/②輝度差/③通知ブロック数】にて
		設定します。

[映像比較] 色差比較		
エラー詳細	値	内容
状態通知	0~1	色差比較エラーが発生した際、及びエラーが継続してい
		る間に色差が変化した際に色差を通知するか、しないか
		を設定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※色差比較エラーのしきい値は
		【2.2.8.5 しきい値設定-映像比較
		④色差比較エラー】にて設定します。

[音声比較] モジュール1/2(L/R)		
エラー詳細	値	内容
状態通知	0~1	音声モジュール比較エラーが発生した際、及びエラーが
		継続している間に相関値が変化した際に相関値を通知す
		るか、しないかを設定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※音声比較エラーのしきい値、モジュール設定は
		【2.2.8.7 しきい値設定一音声比較】にて設定します。

[SDI#1/#2]	局間情報	
エラー詳細	値	内容
状態通知	0~1	局間情報に変化があった場合に通知するか、しないかを
		設定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		<通知項目>
		【局間情報有/無】
		①局間情報なし ②ANC ③VBI
		【映像フォーマット】
		1525i 2525p 3525i/p(540M)
		@750p ⑤1125i/p
		【映像フレームレート】
		124/1.001 224 325 430/1.001
		530 650 760/1.001 860
		【映像アスペクト比】
		14:3 216:9
		【音声モード】
		1M 22M 33M 44M 55M 66M
		77M 88M 9S 102S 113S 124S
		133/0 142/1 153/1 162/2 173/2
		183/2+LFE(5.1) 19S+M 20S+D 205.1+S
		@3/1+S @3/2+S
		【字幕有/無】
		①なし ②あり

リファレンス		
エラー詳細	値	内容
状態通知	0~1	リファレンスの入力状態を通知するか、しないかを設定
		します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。

[映像比較] ディレイ測定値

エラー詳細	値	内容
遅延量通知	0~1	映像の遅延量測定結果を通知するか、しないかを設定し
		ます。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※"1"を設定すると、遅延量が変化した場合に
		その値が通知されます。

[音声比較] モジュール1/2のディレイ測定値		
エラー詳細	値	内容
遅延量通知	0~1	音声比較モジュールの遅延量測定結果を通知するか、し
		ないかを設定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※"1"を設定すると、遅延量が変化した場合に
		その値が通知されます。

LTC		
エラー詳細	值	内容
状態通知	0~1	局内 LTC の入力状態を通知するか、しないかを設定し
		ます。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※"1"を設定すると、信号に LTC がない場合
		ダミー値"99999999"が通知されます。

[SD #1/#2] 入力タイミング		
エラー詳細	値	内容
状態通知	0~1	入力タイミングに変化があった場合に通知するか、しな
		いかを設定します。
		※ "O" で通知しない、"1" で通知するとなります。
		※"1"を設定すると、変化があった場合に
		その値が通知されます。
		1480i 2480p 31080i 4720p

◇メイン画面下部にサムネイルを表示するエラーの設定とサムネイルの表示時刻を設定します。

サムネイル表示設定	×
。設定	
エラー検知時にメイン画面下部でサムネイルを表	を示する項目にチェックを入れて下ざい。
エラー種別	エラー詳細 チェック
[SDI#1]同期附	同期断
[SDI#1]ベース ステータス	
[SDI#1]ベース フリーズ & 無音	
[SDI#1]ベース 輝度レベル	
[SDI#1]ベース 色差レベル	
[SDI#1]ウィンドウ ステータス	
[SDI#1]ウィンドウ フリーズ & 無音	
[SDI#1]ウィンドウ 輝度レベル	
[SDI#1]ウィンドウ 色差レベル	
[SDI#1]VITC状態	
[SDI#1]音声Ch1(L)ステータス	
[SDI#1]音声Ch2(R)ステータス	
[SDI#1]音声Ch3(C)ステータス	
[SDI#1]音声Ch4(LFE)ステータス	
[SDI#1]音声Ch5(LS)ステータス	
[SDI#1]音声Ch6(RS)ステータス	
[SDI#1]音声Ch7(Lt)ステータス	
[SDI#1]音声Ch8(Rt)ステータス	
[SDI#1]音声Ch1(L) 1kHz	
[SDI#1]音声Ch2(R) 1kHz	
[SDI#1]音声Ch3(C) 1kHz ▼	
。表示サムネイル時刻設定	
チェックを入れるとメイン画面にはエラー検知日時	のサムネイルが表示されます。
チェックを外すとログ日時のサムネイルが表示され	ます。
ок	キャンセル 適用

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「アラーム監視」カテゴリー内→「サムネイル表示設定」を クリックします。

(2)設定チャンネルの選択

設定したいチャンネルを選択します。

Ch1	をクリックレ 表示されるリストより選択します
Ch2 Ch3 Ch4	
Ch5 Ch6 Ch7 Ch8	
Ch9 Ch10	

(3)サムネイル表示の設定

左の表より設定するエラー種別を選択し、右の表からエラー発生時にメイン画面上で サムネイルを表示するエラーにチェックを入れます。 チェックを入れるとエラー種別の項目に色が付きます。

(4)サムネイル表示時刻の設定

- チェックを入れるとサムネイル表示時刻はログ日時となります。
 これは VAD-2000SR にてマスクされた日時です。
 チェックを外すとサムネイル表示時刻はエラー検知日時となります。
- これは実際にエラーが発生した日時です。

(5)設定値の保存

適用」「ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(6) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(7)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.10 VAD 接続設定

◇VAD-2000SRのIPアドレス・Snmpコミュニティ・同録装置のIPアドレス・

チャンネル名称等を設定します。

VAD							×
No	本体IP	コミュニティ	同録IP	Ch名称	音声読み上げ用Ch名称	SR-2000 IP	SR2000チャンネル
1	192.168.128.201	public	192.168.128.202	Ch1	ちゃんねるいち	192.168.128.203	チャンネルA
2							
3							
4							
<u>b</u>							
/							
10							
11							
12							
		1		再生		ОК	キャンセル
				再至 1		OK	

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「接続管理」カテゴリー内→「VAD 接続設定」を クリックします。

(2)設定

①本体IP

VAD-2000SRのIPアドレスを設定します。

②コミュニティ

VAD-2000SRのコミュニティを設定します。

③同録 IP

録画装置の IP アドレスを設定します。

④Ch 名称

エラー確認ボタンに表示されるチャンネル名称を設定します。

⑤音声読み上げ用 Ch 名称

エラー発生時に読み上げる音声メッセージを設定します。

- <u>再生</u>をクリックすることで音声メッセージが再生されます。

・ 1 をクリックすることで音声テキスト作成時の注意事項が表示されます。

情報	×
i	~ 音声テキスト作成時の注意事項 ~
	 ・ 全角ひらがな、全角カタカナを使用してください。漢字、英数字、半角文字は読めません。 数字は全て全角ひらがなに置き換えてください。 例. 「1」 → 「いち」、 「23」 → 「にじゅうさん」
	 長音や二重母音は、必要に応じて長音記号の「一」を指定してください。 例. 「おんせー」 「きごー」
	・ アクセント記号(['])について 音の高さが「高→低」に変化する部分にアクセント記号をつけると、スムーズな発 声になります。
	 ・ 句切記号について 全角句点(、) 位置にポーズ(無音区間)が入ります。次の音が高くなります。 半角句点(,)を設定すると、短いポーズが入ります。 半角(;)を設定すると、次のアクセント句が比較的高い音で始まります。 半角(/)を設定すると、通常のアクセント句の句切に指定します。 半角(+)は、前後のアクセント句の句切があいまいな場合に指定します。
	ОК

5SR2000 IP

SR2000のIPアドレスを設定します。

⑤SR2000 チャンネル

SR2000 で使用するチャンネルをチャンネル A/.B から選択します。

(3) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.2.11 プレーヤー接続設定

◇プレーヤーの IP アドレス及びソケットポートの設定を行ないます。

プレーヤー接続設定	1			×
接続設定				
₽₽ドレス	192.168.128.101	ソケットボート	50000	۲
			ОК	キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「接続管理」カテゴリー内→「プレーヤー接続設定」を クリックします。

(2)設定

①IP アドレス

プレーヤーの IP アドレスを設定します。

②ソケットポート

プレーヤーのソケットポート番号を設定します。 設定範囲は 1024~65535 です。

(3) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は 変更した設定値は無効となります。

2.3.1 ログ検索

◇条件を指定してログを検索します。

ログ検索				×
※ 検索条件	没定はAND条件となります			
- CH指定				
Ch1				
- 発生日	時指定			
	日付		時刻	
開始	2012/10/02		11:36:02	
終了	2012/10/03		11:36:02 🜲	
- 🗌 ログ種類	別指定			
□ シ	ステムログ			
🗌 映(象・音声エラーログ			
7	ラーム種別			1
I.			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
- E キーワ ⁻	ード(内容)指定			
		検索関	製始 キャンセ	JV

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「ログ検索」を クリックします。

(2)検索条件の設定

①CH 指定

検索するチャンネルを指定します。

②発生日時指定

検索範囲の日時を FromTo 指定します。

- ③ログ種別指定
 - ・特定のログを検索する時に選択します。
 - ・映像・音声エラーの場合は、アラーム種別及びエラー項目を選択します。
- ④キーワード指定

ログ(アラーム)をキーワード検索する時に指定します。

(3)検索結果の表示と保存

検索開始 ボタンをクリックすることでログ検索画面が終了し、ログ検索結果画面

が表示されます。

ログ検索結果が表示されます。

📫 ログ検索結果-2012	2/01/18 23:07:04~2012/01/19 23:07:04			
ファイル(Z)				
発生日時	内容	マスク(秒)	エラー通知日時	エラー維続時間
2012/01/19 08:21:52	VAエラー監視システムを起動しました			
2012/01/19 08:21:53	しきい値設定が正常終了しました [VAD2000SR]			
2012/01/19 08:21:53	マスク値設定が正常終了しました [VAD2000SR]			
2012/01/19-08:21:55	接点装置と切断しました			
2012/01/19 08:21:57	時刻設定が正常終了しました [VAD2000SR]			
2012/01/19/08:21:58	プレーヤーと接続しました			
2012/01/19 08:22:14	録画装置 と切断しました			
2012/01/19-08:22:20	VAD と切断しました			
2012/01/19 08:22:20	コールドスタートを受信しました[VAD2000SR]			
2012/01/19 08:22:20	VADステータス 起動中			
2012/01/19 08:23:13	録画装置 に接続しました			
2012/01/19 08:23:15	VADステータス 正常			
2012/01/19 08:23:15	しきい値設定が正常終了しました [VAD2000SR]			
2012/01/19 08:23:16	マスク値設定が正常終了しました [VAD2000SR]			
2012/01/19 08:23:19	時刻設定が正常終了しました [VAD2000SR]			
				-

①結果を csv ファイルに保存

ファイルメニューから表示します。

ファ	イル(Z)	
	保存(Y)	ľ
	画面を閉じる(Z)	
	1711712181606 1002	_

2同録再生

エラーログをダブルクリックすると、同録再生を準備します。

③ログ検索結果のソート

タイトルをクリックすると、クリックした項目+日時の昇順でソートします。

(4)ログ検索画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

◇ 取得したログデータを全て削除します。

◇ 本機能に画面は存在しません。

・ログの削除

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「ログ削除」を クリックします。

情報	×
1	ログを全て削除します。よろしいですか?
	(はい(Y) いいえ(N)

(はい(Y) ボタンをクリックすると、全てのログを削除します。

※ログの削除は、データベース上のデータを削除されるのみで、保存した CSV ファイルは削除しません。

2.3.3 AVI 自動作成状況

◇自動作成を行なう AVI イベントー覧を表示します。

AVI₿	動作成	状況	— ×	
番号	VADNo	AVI内容 動	画秒数	-
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				Ŧ

- ・メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「AVI 作成状況」カテゴリー内
 →「AVI 自動作成状況」をクリックすることで表示します。
- ・自動作成を行なう AVI イベントの内容及び作成動画秒数が表示されます。

2.4 ハード情報参照

2.4.1 バージョン情報

◇ VAD-2000SR のバージョン情報を参照します。

VADバージョン	×
確認を行なうVADを選択 Ch1	して下さい
項目	バージョン
VAD FPGA Ver	
VADファームVer	
SNMPファームVer	
音声比較ファームVer	
同録ファームVer	
機器名称	
	閉じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「VAD 情報参照」カテゴリー内 →「バージョン情報」をクリックします。

(2)チャンネルの選択

確認したいチャンネルを選択します。



(3)バージョンの確認

確認 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

L

2.4.2 VAD 時刻参照・設定

◇ VAD-2000SR の時刻参照と時刻設定を行います。

VAD時刻参照・設定
確認を行なうVADを選択して下さい Ch1 マ
時刻の確認
確認 VAD
PC時刻
時刻の設定
PCの時刻を設定
開じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「VAD 情報参照」カテゴリー内 →「VAD 時刻参照・設定」をクリックします。

(2)チャンネルの選択

確認・設定したいチャンネルを選択します。



(3)時刻の確認

確認 ボタンをクリックします。

(4)時刻の設定

PCの時刻を設定 ボタンをクリックすると PC の現在時刻を VAD に設定できます。

(5)本画面の終了

閉じるボタンをクリックします。

2.4.3 状態参照

◇VAD-2000SRの状態を表示します。

Ch1 🗸]	確認	
佰日 夕称	価	協家	
- 項目・2日117-) / AD フテータフ		n u	
[SDI#1]同期版			
[SDI#1]ベース ステータス			
[SDI#1]ベース フリーズ & 無音			
[SDI#1]ベース 輝度レベル			
[SDI#1]ベース 色差レベル			
[SDI#1]ウィンドウ ステータス			
[SDI#1]ウィンドウ フリーズ & 無音			
[SDI#1]ウィンドウ 輝度レベル			
[SDI#1]ウィンドウ 色差レベル			
[SDI#1]VITC状態			
[SDI#1]音声Ch1(L)ステータス			
[SDI#1]音声Ch2(R)ステータス			
[SDI#1]音声Ch3(C)ステータス			
[SDI#1]音声Ch4(LFE)ステータス			
[SDI#1]音声Ch5(LS)ステータス			
[SDI#1]音声Ch6(RS)ステータス			
[SDI#1]音声Ch7(Lt)ステータス			
[SDI#1]音声Ch8(Rt)ステータス			
[SDI#1]音声Ch1(L) 1kHz			
[SDI#1]音声Ch2(R) 1kHz			
[SDI#1]音声Ch3(C) 1kHz			
[SDI#1]音声Ch4(LFE) 1kHz			
[SDI#1]音声Ch5(LS) 1kHz			
[SDI#1]音声Ch6(RS) 1kHz			-

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「VAD 情報参照」カテゴリー内→「状態参照」を クリックします。

(2)チャンネルの選択

確認したいチャンネルを選択します。



をクリックし、表示されるリストより選択します。

(3) VAD-2000SR の状態確認

確認

ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

閉じるボタンをクリックします。

2.4.4 測定値参照

◇VAD-2000SR にて測定されている値を表示します。

確認を行なうVADを選択して下さい		_
Ch1 🔻	確認	
佰日 夕称	値	
ISDI#11音声Ch1(1) 音声しべい		
[SDI#1]音声Ch2(B) 音声レベル		-
[SDI#1]音声Ch3(C) 音声レベル		
[SDI#1]音声Ch4(LFE) 音声レベル		
[SDI#1]音声Ch5(LS) 音声レベル		
[SDI#1]音声Ch6(RS) 音声レベル		
[SDI#1]音声Ch7(Lt) 音声レベル		
[SDI#1]音声Ch8(Rt) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch1(L) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch2(R) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch3(C) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch4(LFE) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch5(LS) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch6(RS) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch7(Lt) 音声レベル		
[SDI#2]音声Ch8(Rt) 音声レベル		
[SDI#1]リファレンスに対する周期		
[SDI#2]リファレンスに対する周期		
SDI#2()SDI#1(こ対する周期		
[映像比較]ディレイ測定値		
[音声比較]モジュール1 ディレイ測定値		
[音声比較]モジュール2 ディレイ測定値	[
[映像比較]不一致ブロック数		_
[映像比較]色差		_
[音声比較]モジュール1L 不一致度		_
[音声比較]モジュール1R 不一致度		_
[音声比較]モジュール2L 不一致度		Ŧ

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「VAD 情報参照」カテゴリー内→「測定値参照」を クリックします。

(2)チャンネルの選択

確認したいチャンネルを選択します。



(3) VAD-2000SR の測定値確認

確認ポタンをクリックします。

(4)本画面の終了

<u>閉じる</u> ボタンをクリックします。 ◇ 監視システムのバージョン情報を表示します。



- (1)本画面の起動
 - スタートボタンより、「ソフトウェアバージョン」をクリックします。

r 🚾	
システムの終了(2)	
	ソフトウェアバージョン

(2)本画面の終了

本画面をクリックします。

3. プレーヤー

3.1 プレーヤー 画面

- ◇ 各画音エラーで作成された、再生ファイルを再生します。
- ◇ チャンネル、日時を指定して再生できます。



詳細については以下を参照してください。

- ① 3.1.1 メニューバー
- ② 3.1.2 ビデオ動画再生パネル
- ③ 3.1.3 シークバー
- ④ 3.1.4 動画再生リモコン
- ⑤ 3.1.5 音量調整パネル
- ⑥ 3.1.6 機能ボタンパネル

3.1.1 メニューバー

(1)保存した動画ファイル(AVIファイル)の再生

メニューバーの「ファイル」→「開く」をクリックします。

(2)再生中動画ファイル(AVIファイル)の削除

メニューバーの「ファイル」→「再生動画ファイル削除」をクリックします。

(3)メタデータ表示設定

・メニューバーの「設定」→「メタデータ表示設定」をクリックします。

メタデータ表示設定				
▼ メタデータ動画を表示	示する。			
□ 同録に映像比較エラ-	-ブロック(枠線)を表示する	1.		
▼ 同録にエラーアイコン	ンを表示する。			
メタデータ詳細設定(チェックさ	れた項目を表示及びエラーチェック	を行います。)		
映像	音声	局間情報	同録モート*	
☑ 映像状態 ☑ プラック ☑ フリーズ	 ☑ 音声ch1/2逆相 ☑ 音声ch3/4逆相 ☑ 音声ch5/6逆相 	 ✓ 局間情報(状態) ✓ 局間情報(アスペクト比) ✓ 局間情報(音声モード) 	 ☑ 映像選択 ☑ 音声ソース ☑ 音声ch 	
☑ 輝度レベル ☑ 色差レベル	☑ 音声ch7/8逆相	比較17-		
 ▼ 7* > y0(91>F* 0) ▼ 7y-X*(91>F* 0) 	 ✓ CH1音声I/*\/ ✓ CH2音声I/*\/ 	 ☑ 映像比較15- ☑ 色差比較15- 		
☑ 輝度レベル(ワインドワ) ☑ 色差レベル(ワインドワ)	 ✓ CH3音声/ベル ✓ CH4音声/ベル ✓ CH5音声/ベル 	 ☑ 音声比較1L不一致 ☑ 音声比較1R不一致 ☑ 音声比較2L不一致 		
☑ 字幕	 ✓ CH6音声\/* \/ ✓ CH7音声\/* \/ ✓ CH7音声\/* \/ ✓ CH8音声\/* \/ 	☑ 音声比較2R不一致		
メタデータ表示の注意事項				
上記設定はリアルタイムに反映	されません。設定後の炒デ	-9を参照する場合は再生ファイルを	再作成する必要が有りま	す。
				austen en

・メタデータ表示設定

それぞれ、表示する/しないを設定します。 表示したい項目はチェックをつけます。

・メタデータ詳細設定

メタデータ表示したい、エラーチェックを行いたい項目にチェックをつけます。

OK

ボタンをクリックします。設定を保存し本画面を閉じます。

キャンル ボクンタクロ

ボタンをクリックします。設定を保存せずに本画面を閉じます。

(4)移動フレーム数設定

下記の移動フレーム数を設定できます。

- ・再生中のマウスホイールによるコマ送り/コマ戻し
- ・再生中の画面クリックによるコマ送り/コマ戻し
- ・シークバーのクリックによるコマ送り/コマ戻し

メニューバーの「設定」をクリックし、「移動フレーム数」にカーソルを合わせます。 移動フレーム数は 1~30 フレームまで選択できます。

設定(C) ウインドウ(W)		-
メタデータ表示設定(M)	_	
移動フレーム数(I)	•	10 - フレーム
時刻表示(T)	•	

(5)時刻表示

メニューバーの「設定」をクリックし、「時刻表示」にカーソルを合わせます。

「年月日を表示」をクリックすると 3.1.3「シークバー」の時刻表示に年月日を表示 できます。

設定(<u>C</u>)	ウインドウ(<u>W</u>)		
メタ	データ表示設定(<u>M</u>)		
移動	Iフレーム数(<u>I</u>)	+	
時刻	表示(工)	•	✓ 年月日を表示

(6)再生リスト参照

メニューバーの「ウインドウ」→「再生リスト参照」をクリックするか、もしくは 機能ボタンパネルの 📻 をクリックします。

プレーヤーで24時間以内に再生した一覧を、発生時刻順で表示します。

※キャプチャ画像は直近を4件まで表示します。

📦 直近同録プレー	イヤー再生リス	卜画面		×
ファイル(<u>E</u>) フ	フィルター(<u>L</u>)			
日付	時刻	SID	アラーム名称	再生
2012/10/03	11:46:50	2	2012/10/03 11:46:50 1系 映像(ベース) フリーズ発生	済
5 <u>7</u>				

・同録再生

リストの再生ログもしくはキャプチャ画面をダブルクリックすると、 プレーヤーに同録再生を準備します。

・フィルター

リストのメニューバーより、自動作成のみ表示と未再生のみ表示を指定できます。

3.1.2 ビデオ動画再生パネル

(1)エラーアイコン

メタデータ情報より、エラー(画像比較/色差比較/フリーズ/ブラック)を表示します。



(2)ステータスウインドウ

- ・ログ画面クリックによる再生時
 ログ画面に表示されているログ内容を表示します。
 例.「2011/12/01 20:19:32 123 チャンネル 123(発生)映像比較不一致[45]」
 ・チャンネル、時刻指定により手動作成時
- ・チャジネル、時刻指定により手動作成時 手動作成条件を表示します。 例.「(手動作成) 456 チャンネル 456 2011/12/03 05:12:01 から 5 秒間 」
- ・保存した再生ファイル再生時 再生ファイル名を表示します。 例.「20111213102456_05_05_789.avi 」

(3)コマ送りコマ戻し

ビデオ動画画面の右側をクリックすると、1フレーム進みます。 左側をクリックすると、1フレーム戻ります。 3.1.3 シークバー

11.40.40.00

(1)シークバー

動画の再生に連動して、スライダがシークします。スライダの操作により再生位置を 変更できます。

シークバーをクリックすることで、再生位置を設定した移動フレーム数単位で移動 できます。

(2)時刻表示

動画の時刻をHH:MM:SS:FF 書式にて表示します。

3.1.1「メニューバー」(5)"時刻表示"より年月日を表示できます。

3.1.4 動画再生リモコン



- ① ▲ 先頭フレームに移動 再生ファイルの先頭フレームに移動し停止します。
- ② ◀ 巻き戻し再生/スロー巻戻し再生

・巻き戻し再生
 再生中にクリックすると巻き戻し再生を行います。クリックする毎に巻戻し
 速度を 2 倍速→4 倍速→8 倍速と変更します。
 現在の再生速度をボタン上に、RFW 2x→RFW 4x→RFW 8x と表示します。
 ・スロー巻戻し再生
 停止中にクリックすると1フレーム毎に、コマ戻し再生を行います。
 クリックするたびにコマ戻し間隔を 0.5 秒→1.0 秒→2.0 秒と変更します。
 現在のコマ戻し間隔をボタン上に、INT 0.5→INT 1.0→INT 2.0 と表示します。

③ 🔽 停止

再生を停止し、再生ファイルの先頭フレームに移動します。

④再生/一時停止

┛ 再生を開始します。クリックすると一時停止ボタンに切り替わります。

▶ 現在の再生位置で一時停止します。 クリックすると再生ボタンに切り替わります。

- ⑤ 🏓 早送り再生/スロー再生
 - ・早送り再生 再生中にクリックすると早送り再生を行います。クリックするたびに早送り 速度を 2 倍速→4 倍速→8 倍速と変更します。 現在の再生速度をボタン上に、FF 2x→FF 4x→FF 8x と表示します。
 - ・スロー再生
 停止中にクリックすると1フレーム毎に、コマ送り再生を行います。
 クリックするたびにコマ送り間隔を0.5 秒→1.0 秒→2.0 秒と変更します。
 現在のコマ送り間隔をボタン上に、INT 0.5→INT 1.0→INT 2.0 と表示します。
- ⑥ ▶ 最終フレームに移動

再生ファイルの最終フレームに移動し停止します。

⑦ リピート再生

リピート再生が OFF の状態です。クリックするとリピート再生が ON になります。
 リピート再生が ON の状態です。クリックするとリピート再生が OFF になります。

3.1.5 音量調整パネル

(1)音量トグルボタン

- 音声が出力されていない状態を表します。ボタンをクリックするとミュートを 解除します。

(2)音量スライダ

音声の音量を変更します。

3.1.6 機能ボタンパネル



①メタデータ表示/非表示ボタン

クリックするごとにメタデータの表示/非表示を切り替えます。

メタデータ非表示時は 📖 、メタデータ表示時は 🗭 と表示されます。

😥 直近同録プレイヤー メタデ-	- 夕表示画面	×
VAD###+ 2012/10/3 11:46:4	BLTC	
TC SDI#1	TC SDI#2:	
	VAD-2000SR 1	
Trap通知項目	SDI#1	SDI#2
B 使 状能	480i	480i
ブラック	正常	正常
フリーズ	コリーズ	コリーズ
輝度レベル	正常	正常
色差レベル	正常	正常
ブラック(ウインドウ)	正常	正常
フリーズ(ウインドウ)	正常	正常
輝度レベル(ウインドウ)	正常	正常
色差レベル(ウインドウ)	正常	正常
字幕	無し	無し
音声ch1/2逆相	正常	正常
音声ch3/4逆相	正常	正常
音声ch5/6逆相	正常	正常
音声ch7/8逆相	正常	正常
局間情報(状態)	無し	無し
局間情報(アスペクト比)	-	-
局間情報(音声モード)	無し	無し
CH1音声レベル(dB)	-31 💼	-31 💶
CH2音声レベル(dB)	-30 🚥	-30 💼
CH3音声レベル(dB)	-60	-60
CH4音声レベル(dB)	-60	-60
CH5音声レベル(dB)	-60	-60
CH6音声レベル(dB)	-60	-60
CH7音声レベル(dB)	-60	-60
CH8音声レベル(dB)	-60	-60
8央像比較エラーブロック数	0	2
色差比較エラー(度)	0	
音声比較エラー1L不一致相関値	1 💼	
音声比較エラー1R不一致相関値	0	
音声比較エラー2L不一致相関値	0	
音声比較エラー2R不一致相関値	0	
同錄映像選択	SDI#1/SDI#2/合#	成倍声 分割出力
同録音声ソース/同録音声ch	SDI#1 / ch1/2	

②3×3 画面表示/全画面表示ボタン

・3×3 画面表示ボタン

3x3 分割画面表示モードに切り替え、再生画面を 3x3 分割してビデオ動画再生パネルに表示します。クリックするとボタンが全画面表示ボタンに切り替わります。



・全画面表示ボタン

全画面表示モードに切り替え、再生画面を全画面でビデオ動画再生パネルに表示します。クリックするとボタンが分割画面表示ボタンに切り替わります。

③スナップショットボタン

現在の同録画面上の再生状態を JPG 方式、BMP 方式、PNG 方式にて保存します。

④名前を付けて保存ボタン

表示されている再生ファイル(AVIファイル)を指定フォルダに保存します。

⑤開くボタン

保存した再生ファイル(AVIファイル)を開きます。

⑥手動作成指示画面表示/非表示ボタン

クリックするごとに手動作成指示画面の表示/非表示を切り替えます。

画面非表示時は 🎫 、画面表示時は 📫 と表示されます。

📦 直近同録プレイヤー 手動作成指示画面		X
チャンネル選択 1 CH 1 Ch1		•••
時刻 10:18:56 🗼 から 5 🔹 秒間		
	作成	閉じる

・VAD 番号表示

上記画像の赤枠部分は VAD 番号を表示しています。 数字は手動で変更しないでください。

・チャンネル選択

再生するチャンネルを選択します。

リストボックスより選択するか、 ・ ボタンで選択します。

・再生時刻指定

再生開始時刻と再生時間を指定します。

・再生ファイル作成ボタン/閉じるボタン

作成 ボタンクリックで設定値に基づき再生ファイルを生成します。 ※オンマウスでサムネイルが確認できます。

^{閉じる} ボタンクリックで再生ファイル作成を取り消し、ウィンドウを閉じます。

⑦再生リスト表示/非表示ボタン

クリックするごとに再生リストの表示/非表示を切り替えます。 再生リスト非表示時は 📻 、再生リスト表示時は 📻 と表示されます。 再生リストについては 3.1.1「メニューバー」(5)"再生リスト参照"を参照ください。

4. AVI 自動作成について

4.1 AVI 仕様

・AVIサイズ

1秒 : 約3.9~4.7MB
 60秒 : 約200~290MB
 ※素材内容によってサイズは変動します。

・AVIファイル名称

通常 (アラーム発生年月日時分秒).avi 動画作成時間が1分を超えた場合 (アラーム発生年月日時分秒)+^{///}+(通し番号).avi

4.2 AVI 自動作成イベント追加タイミング

エラー検知中に映像比較エラーを受信し、その後エラー回復を受信もしくは検知停止となった際にAVI自動作成イベントをイベントテーブルに追加し、古いものから順次AVIを作成していきます。

SR2000 が設定されている場合は SR2000 においても動画の自動作成を行ないます。

※映像比較エラーのみ自動作成を行います。

ほかのエラーを残したい場合は、エラー発生時刻より24時間以内にエラーログを ダブルクリックしてAVIファイルを手動で作成してください。

4.3 AVI 自動作成の流れ

①映像比較エラー発生します。

2012/01/20 17:28:42 映像比較 不一致発生 (不一致ブロック数:15) 0 2012/01/20 17:28:42

2映像比較エラー回復します。

2012/01/20 17:28:53 映像比較 不一致回復 2012/01/20 17:28:42 00:00:11

③回復時にAVI 自動作成イベントがイベントテーブルに追加されます。

-	
20120120172842	11

④AVI 自動作成前に HDD 残容量が 2.2.4「キャプチャ設定」で設定した HDD 残容量設定値に達していないかチェックを行ないます。

・HDD 残容量設定値に達していた場合はエラー発生で作成した AVI ファイルを 古い順から削除します。

HDD残容量が設定値に達した為、古い録画ファイルから削除を行ないます
録画ファイルを削除しました[自動20120120172731_1.avi]
録画ファイルを削除しました[自動20120120172731_2.avi]

・AVIファイルの削除を行なっても HDD 容量を確保できない場合は AVI 自動作成を 停止します。

HDDの容量を確保できない為、AVI作成を停止しました

※AVI 自動作成を停止後に HDD 容量が確保されると AVI 作成を再開します。 AVI作成を再開します

⑤HDD 容量が確保されている場合は AVI ファイルが自動で作成されます。

⑥AVIファイル作成後、保存 HDD の残容量が 2.2.4「キャプチャ設定」で設定した HDD 残容量設定値+HDD 残容量設定値の10% に達した場合、注意喚起ログが表示されます。

HDD残容量が少なくなっています

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品に ついてのアフターサービスは、お買い上 げの販売店におたずねください。 なお、販売店が不明の場合は弊社へお手 数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは
販売店:
TEL 担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

- 新潟県燕市吉田法花堂1974-1
- TEL:0256-93-5035
- FAX:0256-93-5038